

ほけんだより

平成 27 年度 門田報徳保育園 11 月号

朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。

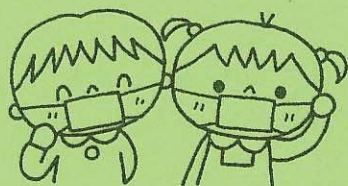
この時期、気をつけたいのがウイルスによる風邪です。子ども達の体調管理には十分注意しましょう。

気をつけたい冬の感染症

感染予防は環境づくりとうがい・手洗いで



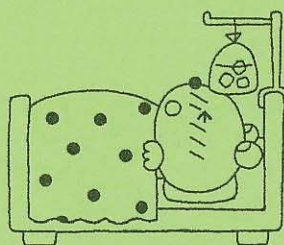
室内で過ごすことの多い冬は特に、快適に過ごせて感染症を防ぐ環境づくりが大切です。室温や湿度、換気などに気を配り、うがい、手洗いを行って冬を元気に過ごしましょう。また、風邪をひいたら早めに受診し、しっかり治してから登園するようにしましょう。



いきなり大流行する感染症

インフルエンザ、ロタウイルス、ノロウイルスは冬の季節にガカリやすい病気です。感染力が強く、集団生活では一人がかかると一気に広まり、高熱や下痢嘔吐を伴い、重篤な症状を引き起こすことがあります。

ウイルス性の病気は、空気、飛沫、経口、接触によって引き起こされるため、日ごろから予防することが大切です。



感染症	どんな病気？	こんな症状
インフルエンザ	インフルエンザウイルスの感染によって発症します。非常に感染力が強く毎年園でも1月から3月にかけて集団流行しやすくなります。	突然38℃~40℃前後の熱が出て、悪寒、のどの痛み、咳、鼻汁の他、筋肉痛や関節痛など。発熱は3~4日程度続き、場合によっては中耳炎や気管支炎、肺炎を起こすこともあります。重い合併症としてインフルエンザ脳症があり、けいれんや意識障害を引き起こし後遺症がでることがあります。
ロタウイルス	流行性嘔吐下痢症とも呼ばれる。ロタウイルスによる感染症の胃腸炎です。嘔吐物に感染力の強いウイルスが含まれる為、おむつをしていない乳児におむつ交換をする大人の手を介して広がりやすいのも特徴。	嘔吐、下痢、発熱が主な症状。突然吐き始め、続いて白色の水様便になります。湯い嘔吐や下痢を繰り返す為、脱水症状になりやすく注意が必要です。
ノロウイルス 胃腸炎	ノロウイルスに感染することにより起こる感染性胃腸炎。1年を通して発生しますが、特に秋から冬に多くなり、幅広い年齢層で発症します。経口感染で感染者が調理した料理から感染することもあります。	潜伏期間は24~48時間。嘔吐、下痢、腹痛が主な症状で、発熱は軽度です。通常はこれらの症状が1~2日続きます。しかし、子どもは特に嘔吐症状が多く、水分が取れない時は脱水症状への注意が必要です。

※ 感染症にかかってしまった場合は、登園は必ず医師の診断(口頭でも良いです)をもらってから登園するようにして下さい。